

THE RECORD

4

1998
No.461

- レコード協会 会長交替のご挨拶
- 1997年度 年間ヒットチャート
- 公取委 著作物再販の取扱い方針公表
- 海外主要国のレコード出荷売上状況

会長交替のご挨拶



池
口
頌
夫

この度は、皆様のご推挙を頂き、日本レコード協会会長の重責を担うことになりました。

昨年日本経済は、4月の消費税率の引上げ、特別減税の廃止に加えて、医療費負担の増加などにより個人消費が予想以上に冷え込むなか、携帯電話の急速な普及、ゲームソフトの爆発的なヒット、更に少子化傾向の定着など、わが業界を取り巻く環境は厳しさを増しています。

さて、デジタル技術の発達、デジタルマルチチャンネルの送信、インターネットの発展、次世代オーディオ機器の開発競争などの外的状況の中であって、わがレコード業界の指向する方向は、明白であります。すなわち、著作権制度の整備充実を図り、レコード製作者の基盤確保と権益拡充のため、IFPI/RIAAとの連携をより強化し、レコード産業にとって好ましい「著作権擁護システム」の構築が急務であります。具体的には、WIPO実演・レコード条約批准のための国内著作権法改正に向けて1、コピーコントロール等の技術的手段及び権利管理情報の法的保護 2、頒布権の導入 3、レコードの公衆への伝達権の付与の3点が当面する課題であろうと言えます。

また、ハードメーカーからのあらゆる技術的提案に対しても、積極果敢に取組み、レコード産業として最も魅力のある、また消費者も納得するパッケージの実現を目指します。

一方、ここ数年来の懸案であります「再販問題」については、昨年も関連業界一丸となって取組んだ結果、当面の危機的状況を脱することができましたが、依然厳しい状況に変わりはなく引き続き重要な課題であります。

若年人口の減少、グローバル化が進む中、音楽業界の発展に資するため、英知を集め、需要拡大のための、諸施策をタイムリーに実施して参ります。このような大きな流れの中で、私自身、誠に非力ながら、レコード協会会長任務遂行にあたり、常に前向きに、個々の課題に対して会員各社の協力の下、加えて国会の諸先生はじめ関係官庁・関係諸団体のご協力を得ながら、プライオリティーの順位に従い、重点的かつ効果的な諸活動を展開して力強く諸施策を打ち出し、レコード産業発展のため、前進して参りたいと存じます。

最後に、難問山積の時期に会長を務められ、再販問題を初めレコード製作者の権益確保に尽力された高野前会長に、衷心より感謝とご慰労の意を表したいと思います。



高
野
宏

日本レコード協会の会長をお引き受けして、早や2年の月日が経過しました。

21世紀を目前にして社会・経済の構造改革が進むなか、音楽やレコードを取り巻く環境も大きく変化し、大変に責任の重い2年間であったと実感しています。特に再販問題は、96年2月の「再販擁護総決起大会」の成功を受けて、本年3月大詰めの公取委の結論公表まで、在任中の最重要課題となりました。しかし、再販問題を含め多くの難問や課題を抱えながら、任期を全うし得たのは、偏に副会長、理事各位や事務局スタッフをはじめ、関係団体の皆様方のご支援とご協力の賜と深く感謝しています。

再販問題は、行政改革委員会と公取委研究会からのそれぞれ検討結果を踏まえ、先頃、公取委から最終見解が発表されました。内容は「音楽用CD等の再販制度存続」が明確化されず、極めて不満ではありますが、引き続き検討を行うとしたことは、評価できるものと思います。

一方、著作権問題は本格化するデジタル環境下であって、一段と重要な課題となりました。97年には、WIPOにおける「実演・レコード条約」の採択を受けて著作権法が改正され、実演家とレコード製作者に新たな権利として「送信可能化権」が付与されました。また、著作隣接権を50年間遡って保護する、いわゆる「50年遡及問題」も96年に解決しました。その他ジョイサウンド事件やブートレック問題への対応、「カラオケ不法録音対策」など、実に多岐にわたるものとなりました。

また国際的な対応としては、在任中に「IFPI理事会」を11年振りに東京で開催し、各国から多数の関係者が参加、著作権問題を中心に議論が進められ多くの成果を収めました。またDVDオーディオ規格は、国際的な検討の場で進められ、その規格発表も間近かとなるなど、わが国の国際的役割は一段と大きなものとなりました。

しかしながら、課題解決は必ずしも充分なものとは言えず、また任期中やり残したことについては、今後多大な努力と時間を要するものもあります。また日本のレコード産業の問題に止まらず、音楽産業全般や広く世界的なものと関わり合いながら、解決していくこととなりますが、それらは今後の重要課題として新会長に引き継がれることとなりました。

皆様方には、引き続きレコード協会の事業にご理解とご支援を賜りたいと存じます。

私も、今後は一理事として、微力を尽くすことを誓うとともに、音楽業界、レコード業界の益々の発展を願って、退任のご挨拶とさせていただきます。

1997年度 年間ヒットチャート

(1997.1.21~1998.1.20)

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
----	------	--------	-----	-----

■邦楽・洋楽合同シングル BEST20

1. CAN YOU CELEBRATE?	安室奈美恵	970219	(AVT)
2. 硝子の少年	KinKi Kids	970721	(JE)
3. WHITE LOVE	SPEED	971015	(TF)
4. 愛されるより愛したい	KinKi Kids	971112	(JE)
5. HOWEVER	GLAY	970806	(PO)
6. ひだまりの詩	Le Couple	970516	(PC)
7. Everything(It's you)	Mr. Children	970205	(TF)
8. Hate tell a lie	華原朋美	970423	(PI)
9. Red Angel	ポケットビスケッツ	970122	(TO)
10. WHITE BREATH	T.M.Revolution	971022	(AR)
11. Calling	B'z	970709	(BM)
12. 口唇	GLAY	970514	(PO)
13. Wanderin' Destiny	globe	971015	(AVT)
14. 渚にまつわるエトセトラ	PUFFY	970416	(SME)
15. Glass	河村隆一	970423	(V)
16. How to be a Girl	安室奈美恵	970521	(AVT)
17. 幸せな結末	大滝詠一	971112	(SME)
18. Liar! Liar!	B'z	971008	(BM)
19. サーキットの娘	PUFFY	970312	(SME)
20. Love is...	河村隆一	971015	(V)

■邦楽・洋楽合同アルバム BEST20

1. REVIEW~BEST OF GLAY~	GLAY	971001	(PO)
2. FACES PLACES	globe	970312	(AVT)
3. BOLERO	Mr. Children	970305	(TF)
4. Love	河村隆一	971122	(V)
5. BEST OF DREAMS COME TRUE	DREAMS COME TRUE	971001	(SME)
6. THE POWER SOURCE	JUDY AND MARY	970326	(SME)
7. Concentration20	安室奈美恵	970724	(AVT)
8. ZARD BLEND ~SUN & STONE~	ZARD	970423	(BG)
9. SURVIVE	B'z	971119	(BM)
10. storytelling	華原朋美	971224	(PI)
11. POWER OF DREAMS	大黒摩季	970806	(BG)
12. Starting Over	SPEED	970806	(TF)
13. everlasting	Every Little Thing	970409	(AVT)
14. SMILING ~THE BEST OF NORIYUKI MAKIHARA~	槇原敬之	970510	(WJ)
15. paradox	相川七瀬	970702	(CT)
16. バタフライ	マライア・キャリー	970910	(SME)
17. SING OR DIE	DREAMS COME TRUE	971115	(TO)
18. SINGLES	LUNA SEA	971217	(UV)
19. 川本真琴	川本真琴	970625	(SME)
20. PRIDE	今井美樹	970716	(FL)

国会関係

音楽議員連盟第23回定例総会開催

去る3月11日(水)午前11:30より、音楽議員連盟(超党派国会議員75人)の第23回総会が、衆議院第1議員会館第1会議室において開催されました。

当日は、国会会期中にもかかわらず、櫻内会長ほか総計27人(代理出席を含む)が出席、また音楽業界からは8団体16人が出席しました。櫻内会長は、再販制度については「音楽議員連盟の力が問われるとき」との認識で挨拶をされました。また芸術・文化団体を代表して、高野レコード協会会長並びに小泉芸団協副会長が挨拶をしました。

音楽文化振興議員懇談会緊急集会開催

去る3月20日(金)12時より、自民党本部において、音楽文化振興議員懇談会緊急集会が開催され、総務庁行政管理局西村長官官房審議官等から、規制緩和委員会が3月末までに取り纏める「規制緩和推進3ヶ年計画」に関連して、現状の報告を受けるとともに、別途に業界代表との意見交換の後、緊急決議を採択しました。

尚、業界代表を交えての会合では、業界を代表して、



当協会の乙骨理事(再販問題研究プロジェクト座長)から挨拶がありました。公取委からは上杉取引部長、和泉澤取引企画課長が同席しました。

採択された緊急決議の内容は下記の通りです。

音楽著作物の再販制度維持を求める緊急決議

私たち音楽文化振興議員懇談会は、本日緊急集会を開き、再度著作物の再販制度維持に全力をあげることを決定した。

私たちは、規制緩和に反対するものではないが、混迷を深め、危機的状況にあるわが国経済の再生と活性化を図るためには、政府規制の緩和は積極的に進める必要があると考える。しかし、著作物は大量に消費される商品とは異なり、市場経済のみにゆだねることのできない精神的な所産であることを忘れてはならない。

音楽CD等の著作物が法定再販制度として位置づけられてきた理由もそこにある。

私たちの感性と情緒を育み、音楽教育に欠くことの出来ない音楽CD等の再販制度廃止は、文化の衰退や教育の荒廃を招くだけでなく、新たな創造と確立を妨げるものである。

私たち音楽文化振興議員懇談会に集う国会議員は、衆参両院全ての国会議員の協力を求めるとともに、広く世論に訴え、著作物の再販制度維持に全力をあげて取り組む決意である。そして、3月末までに策定される政府行政改革推進本部の「規制緩和推進3ヶ年計画」に“音楽CD等の再販制度の維持”が盛り込まれるよう決議する。

平成10年3月20日

音楽文化振興議員懇談会

再販関係

著作物4団体・再販維持で町村文部大臣に陳情

3月末に予定されている、著作物の再販に関する公取委の検討結果公表と規制緩和委員会による新「規制緩和3ヶ年計画」の閣議決定を前に、レコード・新聞・雑誌・出版の各業界団体代表は、著作物の再販問題に関連して、3月19日(木)に町村文部大臣を訪問しました。そして行革委規制緩和小委員会と公取委規制研が報告書の中で指摘された「著作物の再販制度に関する弾力的な運用並びに流通改善等」に対して、改善を積極的に取り組んでいく意向と、これによる再販制度の存続への理解を求めました。

この度の文部大臣訪問は、予てよりレコード協会が中心となって進めてきた業界4団体協同歩調によるものとして実現したものです。



再販関係

席上町村文部大臣からは、「著作物の再販問題の係わる見解は業界の皆さんと同じであるが、健全な青少年の育成には大きな責任を持つ立場にあるので、倫理問題には十分に配慮していただきたい。」との意見を賜りました。

尚当日参加した各団体の代表は次の通りです。

(社)日本書籍出版協会 理事長 渡邊 隆男
(社)日本雑誌協会 理事長 田中 健五
(社)日本新聞協会 専務理事 浅野 修
(社)日本レコード協会 会長 高野 宏

公取委「著作物再販制度の取扱いについて」 公表に伴う見解

公正取引委員会は著作物再販制度について、「再販問題検討のための政府規制等と競争政策に関する研究会」からの提言及び昨年12月の行政改革委員会最終意見を踏まえて、以下の取り扱いとする方針の公表を行いました。以下はその抜粋です。

1. 競争政策の観点からは廃止の方向で検討すべきだが、文化の振興・普及面も配慮検討する必要があるので引き続き検討を行い、一定期間経過後に制度自体の存廃について結論を得るのが適当である。
- 2 (1)関係業界に対して、消費者利益確保の観点から、時限再販・部分再販等運用の弾力化、価格設定の多様化、再販制度利用・態様についての発行者の自主性確保等の是正措置を講ずるよう求め、その着実な実現を図る。
- 一(2)再販制度の運用が不当に消費者利益を害することのないよう厳正に対処するとともに、硬直的・画一的な再販制度の運用の是正を図る。

尚、これに対する当協会の見解は、以下の通りです。

レコード、音楽用CD等（以下、レコード）の再販制度について、われわれはこれまで公開ディスカッションや公取委研究会などのヒヤリングの場、そして関係方面への意見書・要望書を通じて、具体的且つ論理的にその必要性を説明してきた。本日公表された結論が「競争政策の観点からは、廃止の方向で検討されるべきもの」としていることには極めて不満であるが、性急に廃止等の結論

に至らなかったことは妥当である。そして文化の振興・普及との関係も含め、引き続き検討を行うこととし、改めて制度の存廃について結論を得るとした内容は、これまでの経緯から当然の帰結とはいえ、評価できるものである。

レコードの再販制度については、われわれはこれまで ①時限再販制の導入 ②多様な価格帯による発売 ③返品・廃盤商品のリセール（廃盤セール）と自主的積極的に改善を進めてきたが、消費者利益の観点から、この度の結論で求められている是正措置を講ずることを含め、更に一層努力することを確認する。

また、今後とも著作物再販制度の存続について広く理解を求めていく所存である。

当協会事務局組織変更と幹部人事について

当協会事務局組織の一部変更と幹部の異動人事を、4月1日付で以下の通り発令しました。

1. 組織の変更：システム開発室の新設
2. 幹部人事：

海老原 純一 広報室室長（旧 事務局長付）

瓜生 宏司 システム開発室室長（旧 日本コロムビア(株) エグゼクティブSE）

※（補足）システム開発室について一

レコード産業を取り巻く技術変化とレコード利用の多様化が進んでいますが、予てより当協会では、著作隣接権者としての地位と権益を、21世紀においても確固たるものとするために、法制・技術・マーケティング政策の面からの長期ビジョン策定を進めてきました。

これまで平成8年1月に、外部機関を利用して「デジタル化・ネットワーク化社会におけるレコード製作者の権利保護及び権益保全に関する研究報告書」を取り纏めました。また平成8年度には、音楽コンテンツの配信に関わる問題や「音楽コンテンツのデータベース」化の検討を進める中で、インターネットの協会公式サイトとして“Japan Music”を、平成9年3月にスタートさせました。

そしてこの度、予想される音楽ビジネスのノンパッケージ時代を前に、将来に亘ってレコード製作者の権益保全を図るため、レコード協会が中心となって活動すべく、その役割を担う部門を「システム開発室」として発足させることとしました。

尚、岡田知巳前広報室長は、4月1日付けで日本コロムビア(株)へ復職しました。

その他

新執行体制スタート

3月27日、当協会役員会議室において、当協会の第307回理事会が開催され、平成10年4月1日からの副会長・専務理事・常務理事・各委員会新委員長が以下の通り承認されました。

■役員一覧（敬称略）

会長 池口頌夫（キングレコード株式会社）
副会長 富塚 勇
（ビクターエンタテインメント株式会社）
折田育造（ポリドール株式会社）
後藤 豊（フォーライフレコード株式会社）
専務理事 木村三郎
常務理事 千葉卓男

■各委員会の委員長、担当理事一覧（敬称略）

技術委員会	富塚理事（V）
JASRAC委員会	依田理事（AVT）
音楽ギフトカード委員会	松尾理事（SME）
定款改正委員会	早川理事（VAP）
法制委員会	稲垣理事（WJ）
予算委員会	アブラモフ理事（MME）
二次使用料委員会	齊藤理事（TO）
需要拡大委員会	稲葉理事（PC）
日レ商懇談会	三浦理事（TE）
貸レコード対策委員会	折田理事（PO）
日本GD大賞委員会	新田理事（FUN）
日本音楽家ユニオン委員会	岩田理事（UV）
著作隣接権審議会	後藤理事（FL）
会長選考委員会	徳間理事（TJC）
再販問題研究プロジェクト	乙骨前理事（TO）

第2回東アジア著作権・著作隣接権セミナー開催

文化庁と著作権情報センターの共催により、同セミナーが、去る3月10日から12日までの3日に亘り、新宿・京王プラザホテルで行われました。

今年は、アジアの14の国・地域から2人ずつの代表と、多数のオブザーバーが参加しました。

セミナーの内容は、基調講演、著作権・著作隣接権保護と技術的・政治的関わりについての講演、各国・地域報告、フォークロアの保護に関する講演、著作権／放送／レコードの国際団体アジア支部の代表による講演等が行われ、各テーマについて意見交換が行われました。

今回参加したアジアの国・地域は、ブルネイ、カンボジア、中国、インドネシア、ラオス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、フィリピン、韓国、シンガポール、タイ、ベトナム、そして日本でした。

NECアベニュー株式会社・当協会退会

NECアベニュー株式会社は、3月31日付でレコード協会を退会しました。

4月1日現在で当協会加盟社総数は28社となります。

関係官庁人事異動

当協会関係官庁において次の異動がありました。

（以下敬称略）

【文化庁】（4月1日付）

著作権課長 吉田 大輔（横浜国立大学助教授）

今月の「Japan-Music.or.jp」レポート

ここ数回このコーナーはお休みをしていましたが、その間は「第12回日本ゴールドディスク大賞」のページを新規開設する準備をしていました。現在既にこのページは公表済みですので、是非一度ご覧下さい。

ところで、この3月1日を以て「japan-music.or.jpサイト」も開設1年目を迎えました。

この1年を振り返ると、先ずページ立上げと同時の3月に「第11回日本ゴールドディスク大賞」ページを制作、＜授賞式の速報レポートとして授賞者インタビューの写真とReal Audioによる再生＞を行うとともに、第1回～第10回迄の授賞者情報＜作品名、アーティスト名、レコード会社名＞を掲載しました。これによって、当サイトは立上げ早々に最高で日に2万ヒットを獲得、「japan-music.or.jpサイト」の認知に貢献しました。

6月には（「japan-music.or.jpサイト」を閲覧する事で、答えがわかる）「Music Quiz」をオープンしました。毎月正解者10名に音楽ギフトカード2,000円分の景品を贈呈しています。

またMusic Eventでは、Q盤プロジェクトが実施しているQ盤キャンペーン＜Q盤大賞＞の告知を行い、キャンペーン終了の11月末まで継続しました。更に関連として立上げ当初からのコンテンツである「Q盤大辞典」のデータベースから「アーティスト名」と「年代」から情報を検索できるものもあり、曲の一部をReal Audioで再生できることから、古い名曲を聞くチャンスが少なくなった環境下での人気のコンテンツとなっています。

1998年グラミー全賞一覧

最優秀楽曲賞 (ソングライター)

「サニー・ケイム・ホーム」 ショーン・コルヴィン
最優秀レコード賞 (シングル、アーティスト、プロデューサー)

「サニー・ケイム・ホーム」 ショーン・コルヴィン

最優秀アルバム賞 (アーティスト・プロデューサー)

「タイム・アウト・オブ・マインド」 ボブ・ディラン

最優秀新人賞

ポーラ・コール

最優秀プロデューサー賞 (ノン・クラシカル)

ベイベーフェイス

ポップス部門

最優秀ポップ・アルバム

「アワーグラス」 ジェイムス・テイラー

最優秀ポップ女性ボーカル (シングル)

「ビルディング・ア・ミステリー」 サラ・マクララン

最優秀ポップ男性ボーカル (シングル)

「キャンデル・イン・ザ・ウィンド」 エルトン・ジョン

最優秀ポップデュオ/グループ

「バーチャル・インサニティ」 ジャミロクワイ

最優秀ポップ・ボーカル・コラボレーション

「ドント・ルック・バック」 ジョン・リー・フッカー

with ヴァン・モリソン

最優秀ポップ・インストゥルメンタル

「ラストダンス」 サラ・マクララン

最優秀トラディショナル・ポップ・ボーカル

「ビリー・ホリデイに捧ぐ」 トニー・ベネット

ロック部門

最優秀ロック・アルバム

「ブルー・ムーン・スワンプ」 ジョン・フォガティ

最優秀ロック女性ボーカル (シングル)

「クリミナル」 フィオナ・アップル

最優秀ロック男性ボーカル (シングル)

「コールド・アイアンズ・バウンド」 ボブ・ディラン

最優秀ロック・デュオ・グループ

「ワン・ヘッドライト」 ウォールフラワーズ

最優秀ロック・インストゥルメンタル

「フロック・ロッキン・ビーツ」 ケミカル・ブラザーズ

最優秀ハード・ロック (シングル)

「ジ・エンド・イズ・ザ・ビギニング・イズ・ジ・エンド」 スマッシング・パンプキンズ

最優秀ヘビー・メタル

「アナマ」 トゥール

R&B部門

最優秀R&B楽曲賞 (ソングライター)

「アイ・ビリーブ・アイ・キャン・フライ」 R・ケリー (R・ケリー)

最優秀R&Bアルバム賞

「バドゥイズム」 エリカ・バドゥ

最優秀R&B女性ボーカル

「オン・アンド・オン」 エリカ・バドゥ

最優秀R&B男性ボーカル

「アイ・ビリーブ・アイ・キャン・フライ」 R・ケリー

最優秀R&Bデュオ/グループ

「ノー・ティグティ」 ブラックストリート

ブルース部門

最優秀トラディショナル・ブルース・アルバム

「ドント・ルック・バック」 ジョン・リ・フッカー

最優秀コンテンポラリー・ブルース・アルバム

「セノール・ブルース」 タジ・マハール

オルタナティブ部門

最優秀オルタナティブ・ミュージック

「OKコンピューター」 レディオヘッド

ゴスペル部門

最優秀ロック・ゴスペル・アルバム

「ウェルカム・トゥ・ザ・フリーク・ショー：DC
トーク・ライブ・イン・コンサート」

最優秀ポップ・コンテンポラリー・ゴスペル・アルバム

「マッチ・アップレイド」 ジャーズ・オブ・クレイ

最優秀サザン・ゴスペル、カントリー・ゴスペル、

ブルグラス、ゴスペル・アルバム

「アメーzing・グレイス 2: ア・カントリー・サ
リユート・トゥ・ゴスペル」 VA

最優秀トラディショナル・ソウル・ゴスペル・アルバム

「アイ・クドゥント・ヒア・ノーバディ・プレイ」

フェアフィールド・フォー

最優秀コンテンポラリー・ソウル・ゴスペル・アルバム

「ブラザーズ」 テイク6

最優秀ゴスペル・アルバム (聖歌隊・合唱団)

「ゴッス・プロバティ・フロム・カーク・フランク

リンズ・ニュー・ネイション」

カントリー部門

最優秀カントリー楽曲賞

「バタフライ・キッセス」 ボブ・カーライル、ジェ
フ・カーソン、レイボン・ブラザーズ

最優秀カントリー・アルバム

「アンチェインド〜自由であれ」 ジョニー・キャッシュ

最優秀カントリー女性ボーカル

「ハウ・ドゥ・アイ・リブ」 トリーシャ・イヤウッド

最優秀カントリー男性ボーカル

「プリティ・リトル・アドリアーナ」 ヴィンス・ギル

最優秀カントリー・デュオ/グループ

「ルッキング・イン・ジ・アイズ・オブ・ラブ」 アリ

ソン・クラウド・アンド・ユニオン・ステーション

最優秀カントリー・コラボレーション

「イン・アナザー・アイズ」 トリーシャ・イヤウッ

ド・アンド・ザ・ブックス

最優秀カントリー・インストゥルメンタル

「リトル・ライザ・ジェーン」 アリソン・クラウ

ス・アンド・ユニオン・ステーション

ブルグラス部門

最優秀ブルグラス・アルバム

「ソー・ロング・ソー・ロング」 アリソン・クラウ
ス・アンド・ユニオン・ステーション

フォーク部門

最優秀トラディショナル・フォーク・アルバム

「L'Amour Ou La Folie」 BeauSoleil

最優秀コンテンポラリー・フォーク・アルバム

「タイム・アウト・オブ・マインド」 ボブ・ディラン

ラップ部門

最優秀ラップ・ソロ (シングル)

「メン・イン・ブラック」 ウィル・スミス

最優秀ラップ・デュオ/グループ

「アイル・ビー・ミッシング・ユー〜見つめていたい」
パフ・ダディ&フェイス・エヴァンス フェーチャリング12

最優秀ラップ・アルバム

「ノー・ウェイ・アウト」 パフ・ダディ&ザ・ファミリー

ラテン部門

最優秀ラテン・ポップ

「ロマンス」 ルイス・ミゲル

最優秀メキシカン=アメリカン

「En Tus Manos」 LaMafia

最優秀トロピカル・ラテン

「ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブ」 ライ・クー

ダー&キューバン・ミュージシャンズ

レゲエ部門

最優秀レゲエ・アルバム

「フォーリン・イズ・バビロン」 ジギー・マリー&
ザ・メロディ・メイカーズ

ワールド・ミュージック部門

最優秀ワールド・ミュージック・アルバム

「ナシメント」 ミルトン・ナシメント

ニューエイジ部門

最優秀ニューエイジ・アルバム

「オラクル」 マイケル・ヘッジス

ミュージカル部門

最優秀ミュージカル・ショー・アルバム

「Chicago The Musical」 Jay David Saks (producer)

作曲賞

最優秀インストゥルメンタル作曲賞

「アウン・サン・スーチャー」 ウェイン・ショーター

最優秀映画/TVインストゥルメンタル作曲賞

「イングリッシュ・ベシエント」 ガブリエル・ヤード

最優秀映画/TVソング作曲賞

「アイ・ビリーブ・アイ・キャン・フライ」 R・ケリー

ミュージック・ビデオ賞

最優秀ミュージック・ビデオ賞 (ショート)

「ガット・ティル・イッツ・ゴーン」 ジャネット・
ジャクソン、マーク・ロマネク (ビデオ・ディレクター)

最優秀ミュージック・ビデオ賞 (ロング)

「ジャグド・リトル・ビル・ライフ」 アラニス・モリセ
ット、スティーブ・パーセル (ビデオ・ディレクター)

その他

最優秀児童向けミュージカル・アルバム

「All Aboard」 John Denver

最優秀児童向け朗読アルバム

「Winnie-The-Pooh」 Cahries Kuralt

最優秀コメディ・アルバム

「Roll With The New」 Chris Rock

最優秀朗読/非音楽アルバム

「Charles Kuralt's Spring」 Charles Kuralt

最優秀ポルカ・アルバム

「Living On Polka Time」 Jimmu Sturr

最優秀アルバム・パッケージ

「Titanic Music As Heard on the Fateful Voyage」 Hugh

Brown, Al Q and Jeff Smith

最優秀アルバム・パッケージ(ボックス)

「Beg Scream and Shout! The Big Ol'Box of 60s Soul」

Hugh Brown, David Gorman & Rachel Gutex

最優秀ヒストリカル・アルバム

「Anthology of American Folk Music」

最優秀アルバム・ノーツ

「Anthology of American Folk Music」

最優秀録音賞 (ノン・クラシカル、エン지니어)

「アワーグラス」 Frank Filipetti

最優秀インストゥルメンタル・アレンジメント

(ボーカル曲)

「Cotton Tail」

最優秀インストゥルメンタル・アレンジメント

「Straight No Chaser」 Bill Holman

ジャズ部門

最優秀ジャズ・ボーカル

「ディア・エラ」 ディー・ディー・ブリッジウォーター

最優秀ジャズ・インストゥルメンタル (ソロ)

「スターダスト」 ドク・チャーナム&ニコラス・ペイトン

最優秀ジャズ・インストゥルメンタル (グループ)

「ミズーリの空高く」 チャーリー・ヘイデン&パッ

ト・メセニー

最優秀ジャズ・アンサンブル (ビッグ・バンド)

「ジョー・ヘンダーソン・ビッグ・バンド」 ジョ

ー・ヘンダーソン・ビッグ・バンド

最優秀コンテンポラリー・ジャズ

「イントゥー・ザ・サン」 ランディ・ブレッカー

最優秀ラテン・ジャズ

「ハバナ」 ロイ・ハグローヴ

クラシック部門

最優秀クラシック・アルバム

「プレミア・コンチェルト」 フィラデルフィア管弦
楽団、デイヴッド・ジンマン指揮

最優秀オーケストラ演奏部門

「ベルリオーズ/交響楽曲」 クリーブランド交響

楽団、ピエール・ブレス指揮

最優秀クラシック器楽独奏部門

「バッハ/無伴奏チェロ全曲」 ヤノス・シュタルケル

最優秀クラシック器楽独奏部門 (オーケストラ付)

「プレミア・コンチェルト」 ヨー・ヨー・マ、フィ

ラデルフィア管弦楽団、デイヴッド・ジンマン指揮

最優秀小編成演奏部門

「ヒンデミット/室内音楽選集」 ベルリン・フィル

ハーモニー管弦楽団、クラウドディア・アバド指揮

最優秀室内楽部門

「ベートーヴェン/弦楽四重奏曲全集」 エマーソン

弦楽四重団

最優秀オペラ録音部門

「ワグナー/ニルベルグのマイスタージンガー
全曲」 シカゴ交響楽団他、ショルティ指揮

最優秀合唱作品部門=合唱、オーケストラ指揮

「ラフマニノフ/鐘 アダムス/ハルモニウム」 アト

ランタ交響楽団他、ロバート・ショウ指揮

最優秀声楽部門

「ゆかいな月よ〜イタリア歌集」 チェチーリア・ノルトリ

最優秀現代音楽作曲賞 (作曲家)

「ジョン・アダムズ/エル・ドラド」 ハレ交響楽団、
ケント・ナガノ指揮

最優秀クラシック録音部門 (エン지니어)

マイケル・ビショップ&ジャック・レナー 「コ
ーブランド/ザ・ミュージック・オブ・アメリカ」
年間最優秀プロデューサー

HIT CHART DATA

1998年2月度(97年1月21日～98年2月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
----	------	--------	-----	-----

■邦楽・洋楽合同シングル BEST7

1. my graduation	SPEED	98.2.18	TF
2. 明日が聴こえる／Children's Holiday	J-FRIENDS	98.1.21	JF
3. ニシエヒガシエ	Mr. Children	98.2.11	TF
4. winter fall	ラルク・アン・シエル	98.1.28	SME
5. Time goes by	Every Little Thing	98.2.11	AVT
6. 夜空ノムコウ	SMAP	98.1.14	V
7. 散歩道	JUDY AND MARY	98.2.11	SME

■洋楽シングル BEST7

1. ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	97.10.25	WJ
2. キャンドル・イン・ザ・ウインド 1997～ダイアナ元英皇太子妃に捧ぐ	エルトン・ジョン	97.9.27	MME
3. トゥー・ヤング	14KARAT SOUL	98.2.18	PC
4. マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン～タイタニック愛のテーマ～	セリーヌ・ディオン	97.12.21	SME
5. チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.7.25	WJ
6. TO LOVE YOU MORE	セリーヌ・ディオンwithクライズラー&カンパニー	95.10.21	SME
7. アイル・ビー・ミッシング・ユー～見つめていたい	パフ・ダディ&フェイス・エヴァンス (フューチャリング112)	97.7.2	BMG

■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7

1. 181920	安室奈美恵	98.1.28	AVT
2. triple joker	T. M. Revolution	98.1.21	AR
3. GOLD SUN AND SILVER MOON	SHAZNA	98.1.31	BMG
4. TOKO～best selection	古内東子	98.2.14	SME
5. 伝えたいことがあるんだ	小田和正	97.11.21	FUN
6. SIAM SHADE IV・Zero	SIAM SHADE	98.1.21	SME
7. SUPER HEROES	V6	98.2.11	AVT

■クラシックアルバム BEST7

1. エレクトリック・ギターとオーケストラのための協奏組曲変奏短調「新世紀」	イングヴェイ・ヨハン・マルムスティーン	98.2.4	PC
2. ロマンس	米良美一	97.9.26	K
3. オリノコ・フローエンヤの音楽	タリーシン管弦楽団	98.2.6	TO
4. 秋桜～私の青春のうた2	鮫島有美子	98.1.21	C
5. 歓喜の歌～小澤 征爾 Special	小澤 征爾指揮/サイトウ・キネン・オーケストラ 他	98.1.14	MME
6. 母の唄～日本歌曲集	米良美一	97.9.21	K
7. メーター&ウィーン・フィル：ニュー・イヤー・コンサート 1998	ズービン・メータ指揮/ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団	98.2.4	BMG

■洋楽アルバム BEST7

1. タイタニック	オリジナル・サウンドトラック	97.12.12	SME
2. セヴン・シスターズ	メイヤ	98.2.11	SME
3. ペイント・ザ・スカイ ～ザ・ベスト・オブ・エンヤ	エンヤ	97.11.10	WJ
4. レッツ・トーク・アバウト・ラヴ	セリーヌ・ディオン	97.11.15	SME
5. ダンスマニア8	E-ROTIC 他	98.1.16	TO
6. イールド	パール・ジャム	98.1.28	SME
7. タブサンパー	チャンバワンバ	97.11.7	TO

※AL：アルファミュージック/AO：アメモラ・オータウン・レコード/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス・ディーディー/BG：ビーグ
ラムレコーズ/BM：ルームスレコーズ/BME：バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG：BMGジャパン/C：日本コロムビア/CR：日本ク
ラウン/CT：カッティング・エッジ/EP：ワン・アップ・ミュージック/EW：イーストウエスト・ジャパン/FH：ファンハウス/FL：フォーライフレ
コード/JE：ジャニーズ・エンタテインメント/JF：J-FRIENDS P./K：キングレコード/KT：キティエンタープライズ/ME：メルダック/MME：マーキュ
リー・ミュージックエンタテインメント/NA：NECアベニュー/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニアLDC/PO：ポリドール/PS：
ポリスター/QT：パルコ/RO：ロックイットレコード/SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント/TA：ニュートラス/TDK：TDKコア/
TE：テイチク/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝EMI/UV：ユニバーサル ビクター/V：ビクターエン
タテインメント/VAP：バップ/VF：ヴェルファレー/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/XR：ゼロ・コーポレーション/ZA：ザインレコーズ

■アルバム (22作品)

【邦 楽】

●クワドラブル・プラチナ

triple joker/T. M. Revolution/98.1.21 (AR)
181920/安室奈美恵/98.1.28 (AVT)

●ミリオン

WORKS ~THE BEST OF TRF~/TRF/98.1.1 (AVT)
GOLD SUN AND SILVER MOON/SHAZNA/98.1.22 (BMG)

●プラチナ

もののけ姫/オリジナル・サウンドトラック/97.7.2 (TJC)
BALLAD COLLECTION/X JAPAN/97.12.19 (PO)
rhapsody/広瀬香美/98.1.15 (V)
TOKO~best selection/古内東子/98.2.14 (SME)

●ゴールド

ダウンタウンのぐっつええ感じ音楽全集/エキセントリック少年ボウイオールスターズ/97.12.15 (EW)
FANTASTIX/TWO-MIX/97.12.22 (K)
SIAM SHADE IV・Zero/SIAM SHADE/98.1.21 (SME)
COMPLEX BEST/COMPLEX/98.2.6 (TO)
SUPER HEROES/V6/98.2.11 (AVT)

【洋 楽】

●ミリオン

ペイント・ザ・スカイ 〜ザ・ベスト・オブ・エンヤ/エンヤ/97.11.10 (WJ)

●クワドラブル・プラチナ

ウルトラ・マドンナ〜グレイテスト・ヒッツ/マドンナ/90.11.17 (WJ)

●プラチナ

タイタニック/オリジナル・サウンドトラック/97.12.12 (SME)
ダンスマニア8/E-ROTIC 他/98.1.16 (TO)

●ゴールド

ケルツ/エンヤ/92.12.10 (WJ)
ハート・オブ・シカゴ 1982-1997/シカゴ/97.6.25 (WJ)
セヴン・シスターズ/メイヤ/98.2.11 (SME)

■シングル (29作品)

【邦 楽】

●トリプル・プラチナ

夜空ノムコウ/SMAP/98.1.14 (V)
my graduation/SPEED/98.2.18 (TF)

●ミリオン

明日が聴こえる/Children's Holiday/J-FRIENDS/98.1.21 (JF)

●ダブル・プラチナ

1/2/川本真琴/97.3.21 (SME)
ニシエヒガシエ/Mr. Children/98.2.11 (TF)

●プラチナ

ロマンス/PENICILLIN/98.1.15 (EW)
winter fall/ラルク・アン・シエル/98.1.28 (SME)
球根/THE YELLOW MONKEY/98.2.4 (FUN)
彼女と私の事情/相川七瀬/98.2.4 (CT)
さすらい/奥田民生/98.2.20 (SME)
Time goes by/Every Little Thing/98.2.11 (AVT)

散歩道/JUDY AND MARY/98.2.11 (SME)

●ゴールド

強く儚い者たち/Cocco/97.11.21 (V)
Forever Love/X JAPAN/97.12.19 (EW)
願い事ひとつだけ/小松未歩/98.1.14 (AO)
BAD LUCK ON LOVE~BLUES ON LIFE~/トニーコ/98.1.14 (PC)
ピアノシモ/広瀬香美/98.1.15 (V)
長い間/Kiroro/98.1.21 (V)
空の下で/MY LITTLE LOVER/98.1.21 (TF)
モーニングコーヒー/モーニング娘/98.1.28 (EP)
ヘロン/山下達郎/98.1.28 (WJ)
THANK YOU & GOOD BYE/布袋寅泰/98.1.28 (TO)
ROCKET DIVE/hide with Spread Beaver/98.1.28 (UV)
命の別名/糸/中島みゆき/98.2.4 (PC)
とりかえっこブリーズ/スズキサン/98.2.10 (C)
LOVE AFFAIR~秘密のデート/サザンオールスターズ/98.2.11 (V)
I WANNA GO/華原朋美/98.2.11 (PI)
Stay Together/DA PUMP/98.2.18 (AVT)
都会のメロディー/シャ乱Q/98.2.18 (BMG)

レコード生産実績

1998年2月度(98年2月1日～98年2月28日)

1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

		2月 実績						1998年(1月～2月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
C	邦洋	15,460	44	84	9,941	24	85	31,755	43	100	19,367	24	96
	計	68	0	67	22	0	38	86	0	39	33	0	28
	邦洋	15,528	44	84	9,963	24	84	31,841	43	100	19,399	24	96
	計	12,332	35	96	19,927	48	96	28,188	38	122	43,700	53	116
D	邦洋	7,620	21	104	11,208	27	101	13,163	18	98	18,839	23	95
	計	19,952	56	99	31,135	76	98	41,351	56	113	62,539	76	109
	邦洋	27,791	78	89	29,868	73	92	59,943	82	110	63,066	77	109
	計	7,689	22	103	11,230	27	101	13,249	18	97	18,872	23	95
合計		35,480	100	92	41,098	100	94	73,193	100	107	81,938	100	105
アナログ	邦洋	45	0	91	43	0	56	76	0	95	77	0	67
	計	13	0	45	16	0	49	36	0	96	49	0	115
	邦洋	58	0	74	59	0	54	112	0	96	126	0	80
	計	27,837	78	89	29,912	73	92	60,019	82	110	63,144	77	109
合計		7,701	22	103	11,246	27	101	13,285	18	97	18,921	23	95
合計		35,538	100	92	41,157	100	94	73,305	100	107	82,064	100	105

2. オーディオテープ

		2月 実績						1998年(1月～2月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
カセット	邦洋	1,672	99	85	1,291	99	82	3,212	99	91	2,459	99	85
	計	17	1	376	17	1	248	22	1	187	24	1	136
	邦洋	1,689	100	86	1,307	100	83	3,233	100	91	2,484	100	85
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カートリッジ	邦洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋	1,672	99	85	1,291	99	82	3,212	99	91	2,459	99	85
	計	17	1	376	17	1	248	22	1	187	24	1	136
合計		1,689	100	86	1,307	100	83	3,233	100	91	2,484	100	85

3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

		2月 実績						1998年(1月～2月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋	盤	12,923	100	130	2,177	98	99	18,207	100	82	3,197	97	72
	計	10	0	81	39	2	109	23	0	119	82	3	145
	邦洋	12,932	100	130	2,216	100	99	18,229	100	82	3,279	100	72
	計	10	0	81	39	2	109	23	0	119	82	3	145

4. ビデオレコード

		2月 実績						1998年(1月～2月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	邦洋	841	30	101	2,646	32	114	1,732	33	99	4,768	28	104
	計	1,981	70	94	5,678	68	82	3,585	67	108	11,997	72	107
	邦洋	2,822	100	96	8,324	100	90	5,317	100	105	16,765	100	106
	計	2,822	100	96	8,324	100	90	5,317	100	105	16,765	100	106

5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

		2月 実績						1998年(1月～2月)累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	邦洋	37,227	70	91	42,465	80	94	76,538	76	106	84,548	81	105
	計	12,932	24	130	2,216	4	99	18,229	18	82	3,279	3	72
	邦洋	2,822	5	96	8,324	16	90	5,317	5	105	16,765	16	106
	計	52,981	100	99	53,004	100	93	100,085	100	101	104,592	100	103

備考 1. 本年実績は、会員会社「29社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

海外主要国のレコード出荷売上状況

本号は、フランスとドイツのオーディオレコードの過去10年間の出荷数量と出荷金額の推移を種類別に紹介します。

表1. フランス（フランスレコード協会資料による。）

西暦	出荷数量（万枚・巻）						出荷金額（百万フラン）					
	L P	シングル	CDシングル	CDアルバム	カセット	合 計	L P	シングル	CDシングル	CDアルバム	カセット	合 計
1987	2,041	4,945	1,247		2,213	10,446	615	631	833		705	2,784
1988	1,938	4,275	2,581		3,102	11,896	602	551	1,553		1,056	3,762
1989	1,617	3,555	4,097		4,013	13,282	499	459	2,386		1,466	4,810
1990	671	2,662	5,622		4,196	13,151	204	349	3,177		1,513	5,243
1991	130	1,450	200	6,530	4,040	12,350	38	195	56	3,777	1,421	5,487
1992	20	590	500	7,060	3,620	11,790	5	89	111	4,172	1,306	5,683
1993	10	50	1,320	7,970	3,370	12,720	2	11	256	4,607	1,186	6,061
1994	7	30	1,400	8,760	2,590	12,787	2	7	272	4,995	955	6,270
1995	8	20	2,150	9,300	2,220	13,698	3	7	413	5,434	908	6,765
1996	7	20	3,010	9,740	1,720	14,497	2	6	584	5,477	708	6,774
前年比	88	100	140	105	77	106	67	86	141	101	78	100

（注）数値は、四捨五入により内訳と合計が一致しない場合があります。

表2. ドイツ（ドイツレコード協会資料による。）

西暦	出荷数量（万枚・巻）						出荷金額（百万マルク）				
	L P	シングル	CDシングル	CDアルバム	カセット	合 計	L P	シングル+CDシングル	CDアルバム	カセット	合 計
1987	6,630	3,850	2,280		5,820	18,580	39%	11%	26%	24%	2,560
1988	5,760	2,950	210	3,920	5,990	18,830	31%	8%	38%	23%	2,785
1989	4,830	2,600	650	5,690	5,810	19,580	24%	8%	46%	22%	3,095
1990	4,390	1,780	940	7,620	7,460	22,190	19%	6%	51%	24%	3,645
1991	2,380	1,060	1,480	10,420	7,840	23,180	9%	6%	62%	23%	4,040
1992	510	470	2,190	13,180	5,820	22,170	2%	7%	75%	16%	4,142
1993	160	240	3,450	15,270	4,720	23,840	1%	9%	79%	11%	4,515
1994	70	140	3,860	16,620	3,820	24,540	—	10%	81%	9%	4,660
1995	40	80	4,330	17,690	3,150	25,290	—	11%	82%	7%	4,680
1996	40	80	4,730	18,170	3,000	26,020	—	11%	83%	6%	4,785
前年比	100	100	109	103	95	103	—	100	101	86	102

（注）数値は、四捨五入により内訳と合計が一致しない場合があります。
出荷金額は推定%で発表されています。

会議メモ (主なもの)

(3月1日～3月31日)

- | | | |
|--------------------|----------------------|---------------------|
| 3・3 労政部会 | 3・12 音楽ギフトカード委員会 | 法制委員会 |
| 3・5 デジタル問題対策会議 | 3・13 同和问题推進連絡会 | 3・25 洋楽企画専門部会 |
| 3・6 調査統計部会 | 需要拡大委員会 | 3・26 JASRAC委員会・交渉会議 |
| 再販懇事務連絡会議 | 3・16 音楽家ユニオン委員会・交渉会議 | 洋楽部会 |
| 3・9 音文懇代表者会議 | 3・17 ニューメディア技術専門部会 | 情報システム部会 |
| 3・10 レコード制作基準倫理委員会 | Q盤プロジェクト | 3・27 理事会 |
| 3・11 営業部会 | 3・18 再販プロジェクト | 技術委員会 |
| 著作権部会、幹事会 | 業務委員会 | ビデオ部会 |
| | 3・19 邦楽制作部会 | 3・30 同和问题推進連絡会幹事会 |
| | 3・20 調査統計部会 | |
| | 3・23 ミュージックPOD実験協力会議 | |
| | 3・24 洋楽宣伝専門部会 | |



RIA 1998年4月号
Recording Industry Association of Japan

発行人 池口 頌夫

編集人 木村 三郎

発行日 1998年4月10日

発行 社団法人日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460 (代)

URL:<http://www.japan-music.or.jp/>